



新春対談

埼玉大学研究生

富士見市長

セルビア共和国特命全権大使

富士見TOPサポーター

アナ・ロゴ氏・星野光弘氏

ネナド・グリシッチ氏・スロボダン・ヤイツチ氏

東京2020オリンピック・パラリンピックが紡ぐもの、創るもの、遺すもの

対談会場／セルビア共和国大使館

東京 京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催まであと6か月。今回は、富士見市がホストタウンとなっているセルビア共和国の大使館で、ネナド・グリシッチ特命全権大使とセルビア共和国出身で富士見TOPサポーターのスロボダン・ヤイツチさん、同国出身で埼玉大学研究生であり、市の非常勤嘱託職員でもあるアナ・ロゴさんをゲストに、東京2020大会への抱負や展望についてお話しいただきました。

図 秘書広報課 ☎ 241

市長 新年明けましておめでとうございます。いよいよ今年7月に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。セルビア共和国内での注目度や盛り上がりはいかがですか。

大使 セルビアの国民は皆、大会当日が来るのを心待ちにしています。セルビアはスポーツが盛んな国で、今大会では、女子バレーボール、男子バスケットボール、陸上、水球などでメダルの獲得が期待されています。テニスのジョコヴィッチ選手への期待も大きいですね。大会期間中は、セルビアから多くの方が応援のために来日します。

ヤイツチ セルビアでは、スポーツに関することであれば大会の規模を問わず話題の中心になります。セルビアは人口も少なく、得意なスポーツも多くはありませんが、出場種目では高い成果を期待され、皆熱心に応援すると思います。

ロゴ 今回はオリンピックだけでなくパラリンピックでも有望な選手が多く、大会の開催が楽しみです。

市長 セルビアにはさまざまな混乱を乗り越えてきた過去がありますが、どんな状況でもスポーツが盛んだった印象があります。セルビア人にとってスポーツとはどのようなものですか。

大使 セルビアでは、昔からスポーツは人と人とのコミュニケーションや教育などの観点でも大事な役割を果たしてきました。スポーツは人生の中で大切なものと考えている方は多いです。

ヤイツチ スポーツ選手は子どもたちの模範として扱われています。

ロゴ セルビアにとってスポーツは国を表すアイデンティティの一つです。私が日本の方にセルビア出身であることを伝えると、「バレーボールが強い国ですね」といった反応をする方がとても多いです。

市長 セルビアの方々にとって、スポーツは生活の一部なのです。そのようなスポーツの祭典であるオリンピック・パラリンピックが、大使の在任期間中に大使館のある東京で開催されるのは、やはり感慨深いものがあります。

【富士見TOPサポーター】

市では、市民の皆さんとともに東京2020大会を盛り上げるため、ホストタウンとしての各種事業をサポートするボランティアを募集しています。詳しくは、右記コードから市ホームページをご覧ください。



【ホストタウン】

東京2020大会の開催で海外から多くの選手・観客などが来日することをきっかけに地域活性化などを推進するため、事前キャンプの誘致などを通じ、大会参加国・地域との相互交流を図ることを目的とした国の取組み。



友人のように接してくれるだけでなく、こちらの想いに応えようと力を尽くしてくれます。ヤイツチさんとロゴさんから同じように感じます。

大使 友人のためなら全力を尽くすのがセルビア流です。富士見市の皆さん、大使館職員、そしてセルビア代表選手などが東京2020大会に向けてワンチームとなつて臨むことで、試合結果だけでなく、かけがえない交流が生み出されることを期待しています。

ホストタウン事業を通してさらなる交流の深化とまちづくりを

市長 大使には、本市のホストタウン登録にあたりセルビア共和国オリンピック委員会の会長と面会の機会をつくっていただくなど多大なご協力をいただき、昨年12月にレスリングとハンドボールの事前キャンプの受入れを含めたホストタウン登録が決まりました。これをきっかけに、セルビア・日本間およびシャバツ市・富士見市間の友好をさらに深められる取組みを行いたいと考えています。

大使 私たちとしても、セルビア代表選手が日本を訪れた際には、富士見市民と活発に交流してもらいたいと思っています。唯一の姉妹都市である富士見市は、セルビアと日本の交流の歴史の中で大きな役割を果たしました。また、アニメや武道が親しまれているセルビアでは、日

大きな交流の礎には一人ひとりの大切な思い出があり、それが感動に結びつく

Mitsuhiro Hoshino
— 星野 光弘 —

富士見市長
1957年富士見市生まれ。関沢小学校、本郷中学校、日本大学豊山高等学校、日本大学経済学部を卒業。2016年8月から現職。

市長 私たちが昨年7月にシャバツ市を訪問した時にシャバツ市の皆さんが親しくしてくれたように、私たちもセルビアの皆さんをおもてなしの心でお迎えしたいと思っています。私たち市全体の応援が選手たちの最高のパフォーマンスにつながるものになりたいと思っています。その結果、メダルを獲得してくれたら言うことはありませんね。

大使 ありがとうございます。セルビアでの滞在はいかがでしたか。

【セルビア共和国シャバツ市】

首都ベオグラードの西方約80kmに位置し、北東部にはベオグラード北部でドナウ川に合流するサヴァ川が流れ、舟運を活用した経済活動が営まれてきた。セルビアの主要な農産物の一つであるベリーやイチゴの生産も盛ん。富士見市とは昭和57年10月から姉妹都市。



大使 もちろんです。在任期間中であることもそうですが、私は1970年代に外交官をしていた父と東京に住んでいたことで、感動もひとしおです。市長は2度目の東京大会を迎えることになりましたね。

市長 前回大会当時、私はまだ小学生でした。終戦からおよそ20年が経ち、オリンピックを開催できるまでになった当時の日本の盛り上がりは格別でしたね。また、日本代表選手が世界各国の選手と競い、金メダルを獲得する姿を誇らしく感じたことを覚えています。そして、東京に世界各国から大勢の選手が来るのが嬉しかったですね。現在、大使館でも選手たちを迎える準備が始まっていると思いますが、いかがですか。

大使 大使在任中のオリンピック開催は非常に大きな仕事です。昨年10月の即位礼正殿の儀でもセルビア本国からの要人を迎えるための準備に追われましたが、東京2020大会では、機運醸成に向けた取組みに加え、ヴチッチ大統領などが来日する予定もあり、準備はハードなものになるでしょう。

市長 ヤイツチさんは富士見TOPサポーターとして、ロゴさんは本市の非常勤嘱託職員としてオリンピック・パラリンピック関連事業に携わることになったきっかけを教えてください。

ヤイツチ 以前から、日本とセルビアの間での唯一の姉妹都市である富士見市に注目していました。富士見市がホストタ

互いに応援しあった思い出をレガシーとして語り継いでいければ



Nenad Glišić
— ネナド・グリシッチ —

セルビア共和国特命全権大使
1970年代に外交官だった父とともに来日し学生生活を送る。セント・メリーズ・インターナショナルスクール(世田谷)卒業後、上智大学での1年間の就学を経て、セルビア共和国ベオグラード大学経済学部を卒業。セルビア企業のマネージャーやディレクターを経て、1997年からセルビア共和国外務省に勤務し、2014年から現職。好きなスポーツは卓球。

ウンになったことを知り、何か力になれないかと思っていたところ、富士見TOPサポーターの存在を知り、担当課である生涯学習課を訪ねました。

ロゴ 私は富士見市国際友好協会の方と縁があり、富士見市の方にもっとセルビアを知ってもらいたいと思い、昨年6月から非常勤嘱託職員になりました。

大使 2人の活躍を大使館の職員一同誇りに思っています。大使館としても2人をサポートしたいと思います。

市長 私も2人が本市のために働いてくれていることを心強く思っています。大使に初めてお会いした時やシャバツ市でゼレノヴィッチ市長と面会した時にも感じましたが、セルビアの方々は昔からの

【富士見市国際友好協会】

セルビア共和国シャバツ市との姉妹都市提携締結に伴い、国際交流を促進する組織として昭和58年6月に発足。シャバツ市との相互訪問交流や国際交流フォーラムなどの実施を通して、市民の国際交流を推進している。





スポーツへの支援に取り組んでおり、今後も障がい者支援施策を拡充していく予定です。障がい者スポーツ施策はもちろん、雇用などの面で、支援の充実などが検討されています。これまでのさまざまな施策が実り、リオデジャネイロパラリンピックでは卓球女子シングルスでランコヴィッチ選手が金メダルを獲得しました。東京2020大会での活躍も期待されています。セルビアでは、オリンピックだけでなくパラリンピックも大変盛り上がりです。

セルビアでは、障がい者施策をさらに推進する大きな機会です。セルビアのパラリンピアンやその関係者とさまざまな意見交換をして市の施策に活かせるよう、交流の機会を作りたいと考えています。本市では、2月にパラリンピックに関連した事業の実施について検討しているところです。時間が合えば、大使もぜひお越しください。大使は卓球がお好きだと伺っていますので、そこで「グリシッチ杯」を開催し、大使にも子どもたちと試合してもらえようという取組みができたかと思っております(笑)。卓球はコートもボールも小さなスポーツですが、1971年に日本で開催された世界卓球選手権大会では世界情勢に大きな役割を果たしたことがあります。そのような事例を鑑みると、スポーツには世界を変える力があるのだと思います。老若男女、

市での交流は、セルビア代表選手にとっても子どもたちにとってもかけがえのないものになる

Ana Logo

アナ・ロゴー

セルビア共和国ベオグラード市出身
ベオグラード大学言語学部日本語学科卒業
平成30年4月に来日し、現在埼玉大学教育学部研究生。令和元年6月から生涯学習課の非常勤嘱託職員として、東京2020大会に関する業務に従事している。好きなアニメは「NARUTO-ナルト-」。
着用しているのは、ヤイツチさんと同じくセルビア中部の代表的な民族衣装。

オリンピック・パラリンピック開催後のレガシーの創出

人種・健常者・障がい者などの垣根なく、すべての人に実りのある東京2020大会となることを願っています。

市長 東京2020大会終了後、ホストタウンであったことを一過性の出来事で終わらせず、これまでのシャバツ市と富士見市の交流、セルビアと日本の友好関係をさらに高め、後世につなげていきたいと考えています。

大使 富士見市で事前キャンプが行われることをきっかけに、セルビアの国民もシャバツ市民も日本や富士見市のことを

【共生社会ホストタウン】

海外のパラリンピアンを迎えることなどをきっかけに、ユニバーサルデザインのまちづくりと心のバリアフリーに向けた、自治体ならではの特色ある施策の実施を促す国の取組み。東京2020大会時の選手の受入れだけでなく、大会のレガシーとして大会後の発展的な取組みにもつなげる。



Slobodan Jajić

スロボダン・ヤイツチー

セルビア共和国ベオグラード市出身
ベオグラード大学言語学部日本語学科卒業
東京学芸大学・一橋大学への留学経験があり、現在は京王観光株式会社に就業。富士見TOPサポーターにも登録している。空手をたしなむ。
今回着用しているのは、セルビア中部の代表的な民族衣装。

市長 ハンドボール協会のジュルコヴィッチ会長、レスリング協会のトライコヴィッチ会長も本当に親しく我々を受け入れてくださいました。お2人からは何としても東京2020大会に選手を送り出したいという強い想いを感じました。

セルビアで印象に残っているものに、お肉とラクヤ(蒸留酒)があります。食事はおいしかったのですが、量もすごかったですね。アスリートにとって食事は調子を左右するポイントの一つです。セルビアの皆さんに合う食事を調査し、最高のパフォーマンスを発揮してもらえよう準備したいと考えています。

大使 量についてもお願いします(笑)

市長 東京2020大会終了後、今度は

ラクヤではなく富士見市のお酒で選手たちと乾杯をしたいですね(笑)

ヤイツチ 事前キャンプの競技種目の一つにハンドボールがあるのは、富士見市にとってチャンスです。ハンドボールはヨーロッパでも人気のあるスポーツですが、日本ではまだ知名度が低いので、ヨーロッパで人気のある競技を富士見市を中心に普及させていけば、さらに交流が深まります。

ロゴ レスリングについても、富士見市はマットを含めた設備が充実していることに加え、ロンドンオリンピックの女子レスリングで金メダルを獲得した小原日登美さんが住んでいて、子どものレスリング教室に力を注いでくださっています。

市の事前キャンプの成功が、日本全国で諸外国との友好関係を生み出すきっかけになれば

そのような富士見市で事前キャンプができるのは素晴らしいことです。セルビア代表選手にとっても、子どもたちにとっても貴重な時間になると思います。

市長 私たちは、パラリンピアンとの交流をきっかけにユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを進めていく共生社会ホストタウンも重要視しています。私も昨年の6月から聴覚障がいの方の自立と社会参加の実現を目指す全国手話言語市区長会の会長を務めており、海外のパラリンピアンなどさまざまな方々と接して見識を深めることもすべての人に優しい施策を展開するために必要だと考えています。

大使 セルビアでは、以前から障がい者

【ラクヤ(Rakija)】

発酵させた果実から作る蒸留酒。アルコール度数は40%前後と非常に高い。セルビアでは食前酒として家庭やレストランなどで広く親しまれ、自宅で醸造している家庭も多い。



セルビア共和国の ホストタウン



新潟県 柏崎市



本大会開催前に国際親善試合を開催予定

「水球のまち柏崎」は、水球強豪国のセルビアとモンテネグロのホストタウンとして、両国の事前キャンプの受入れ、水球留学や児童の水球絵画交換交流などを行っています。東京2020大会前に、両国に加えてアメリカ、オーストラリアなどの代表チームを招き、国際親善試合を開催する予定です。



両国との交流を通じて、アジア圏の水球合宿地の基盤を築くとともに若い世代の国際感覚、語学力の向上を目指しています。
☎ 柏崎市役所水球のまち推進室 ☎0257-41-4020

セルビアのお家芸・男女バレーボールのホストタウン



防府市は、平成28年6月14日にセルビアのホストタウンに登録されました。事前キャンプを行うバレーボールについて、女子チームはすでにオリンピック出場を決めており、男子チームは今月開催の欧州大陸予選の結果で出場が決まります。男女両チームの東京オリンピック競技大会での優勝を願い、全力で応援していきます。がんばれ！セルビア！

☎ 防府市役所セルビアホストタウン推進室 ☎0835-25-2018

山口県 防府市



今大会で初めて採用種目となる 3人制バスケットボール

唐津市は、令和元年6月28日にセルビアのホストタウンに登録され、8月23日に3人制バスケットボール男子代表の事前キャンプ実施についての合意書をセルビア共和国オリンピック委員会と締結しました。佐賀県や地元プロチーム「唐津レオブラックス」との連携による事前キャンプ受入れをきっかけに、スポーツをはじめさまざまな相互交流を進めることを目指しています。



☎ 唐津市役所国際交流・地域づくり課 ☎0955-72-9220

佐賀県 唐津市



先人が育んできた絆を胸に

もっと身近に感じるはず。スポーツの交流をはじめ、さまざまな分野の交流の発展に結びつくことを期待しています。

市長 交流事業は市民の皆さんに「セルビアへ行ってみたい」「セルビアを応援してよかった」と思ってもらえるものにしたと思います。いずれ、富士見市とセルビアの間を若い世代が行き来するような取組みを実施できれば、後世につながっていくと思います。

大使 いいですね。市長が話されたとおり、東京2020大会を一つのステップとして、次の世代に歩みを進めてもらいたいですね。

ロゴ 私の非常勤嘱託職員としての役割は市のオリンピック・パラリンピックに関する事業のサポートですが、大会終了後も何らかの形でセルビアと日本の交流に携わりたくと考えています。もっとセルビアのことを皆さんに知ってもらえるよう頑張ります。

ヤイツチ 富士見市でのホストタウン事業の成功と今後の交流がきっかけとなって、日本全国でセルビアをはじめとする諸外国との友好関係を促進するムーブメントが起こればいいですね。

大使 富士見市とセルビア、シャバツ市の間で、互いを親しく思い、応援しあう関係性が構築されつつあることは

とても重要です。大会開催後のレガシー創出はホスト側が主語になりがちですが、東京2020大会開催に向けた取組みがその関係性を熟成させ、事前キャンプが互いの特別な思い出となることで、富士見市だけでなくセルビアにとつてのレガシーにもなりえます。ラグビーワールドカップ日本大会では、日本のサポーターは海外のチームのことも一生懸命に応援していて、海外の選手や観客たちもそのことを評価し、感謝していました。とても良い事例だと思います。互いを認め、尊敬し合うことで一人ひとりの大切な思い出として心に残り、そのことをレガシーとして語り継いでいければ、富士見市における東京2020大会は大成成功だったと言えるでしょう。

市長 そうですね。国と国や都市と都市という大きな交流の礎には、一人ひとりの密接な付き合いとそれに基づく感動があるのだと思います。37年前に姉妹都市シャバツ市との縁をつないでくれた先人の方々、セルビアやシャバツ市で出会った皆さんとの思い出を胸に、ともに未来へと歩みを進めていきましょう。東京2020大会でのセルビアの活躍を、市全体が一つになって応援します。本日はありがとうございます。



【扇だこ】

今月号の表紙とP8の写真で見られるのは、幕末から伝わる富士見市の代表的な民芸品である「扇だこ」。今回の対談にあたり、扇だこの製作技術伝承者である大曾根力雄氏からセルビア共和国大使館に寄贈された。



【オリンピックのレガシー】

競技施設やスポーツ振興、人的交流など、有形・無形を問わずオリンピック・パラリンピックの開催をきっかけに生み出される社会的な効果。